

# 清水ヶ丘便り

S U W A S E I R Y O H I G H S C H O O L N E W S

vol.10 2005.6

編集・発行 長野県諏訪清陵高等学校  
教務(広報情報)係



4月	入学式 テスト 土曜講座 新入生歓迎乗艇 新入生歓迎会 クラスマッチ
5月	南信総体 一斉査査 授業公開 PTA総会
6月	県高校総体 芸術鑑賞 定期査査① 110周年記念式典 地区PTA

## これからの行事日程

7月	1~4日	清陵祭
	9日	土曜講座
	23~30日	夏期補習
8月	夏期休業中	大学見学会
	18日	宿題テスト(1・2年)
	18・19日	校内模試(3年)
	27日	土曜講座
9月	5日	端艇大会
	10日	体験入学
	13~16日	定期テスト②
	16日	第16回サイエンスフォーラム
	17日	土曜講座

## 新入生 243名入学

4月5日、平成17年度入学式が行われ、男子133名女子110名の計243名が入学しました。保護者・教職員の拍手の中、新入生が新担任に先導されて入場、入学許可に続き、学校長式辞・PTA会長・同窓会長からお祝いの言葉を頂きました。

明治28年の創立以来、今年110周年を迎える節目に入學した新入生は、質実剛健の気質と自主独立の精神という校風と校是である「自反而縮雖千萬人吾往矣」を受け継ぐべく、清陵生への第一歩を踏み出しました。第3面の「1学年便り」をご覧ください。



## 創立110周年記念式典が行われました

本校は明治28年の創立以来今年で110年となり、6月24日(金)の午後、校内の記念式典を大体育館で行いました。関校長は、110年を振り返りながら、「よい伝統を受け継いでほしい」と式辞を述べ、来賓の林同窓会長から「中身が大切で、改めて伝統を考え、清陵の黄金時代を築いてほしい」、古屋PTA会長から「人は誰かに助けてもらって生きているので、人の為に役に立つ知識を身につけて」との祝辞をいただいた後、五味学友会長は「今の時代に合った自治を創造したい」と呼びかけました。25日(土)は、同窓会の主催により、「映画と私」と題して、山田洋次映画監督の記念講演があり、午後同窓会総会の後、「我が人生をかえりみて縮くんば…」をテーマにOB三氏による「清陵フォーラム」を行いました。



## 17年度の教育目標

下線部は17年度追加部分です

- ① 生徒の学力向上 <重点目標>
- ② 新SSHに向けた学校全体の取り組み
- ③ 主体的な進路選択と進路実現の支援
- ④ 学友会の自主活動支援とクラブ活動の活性化
- ⑤ 自主・自立性に基づく“清陵生としての自覚”を高める指導
- ⑥ 前期選抜の改善と広報活動の充実

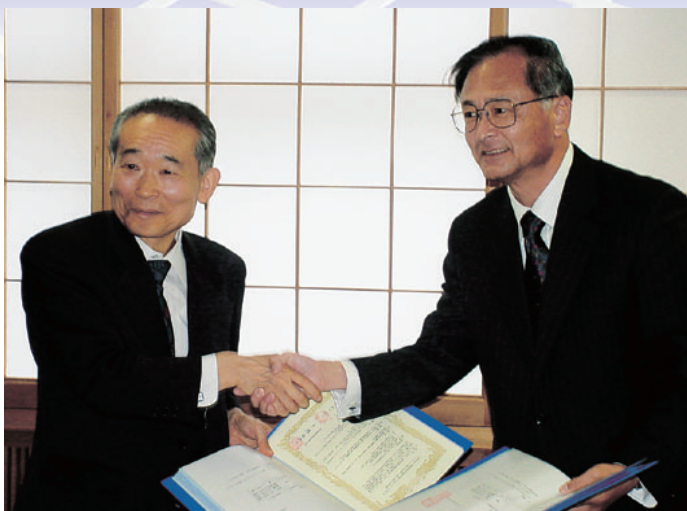
※スーパーサイエンスハイスクール(SSH)  
文部科学省の指定を受け重点的な理数教育を実施中(14年度~) 第2面参照

## 授業公開をしました

今年度1回目の授業公開を5月21日(土)に行いました。土曜日の公開ということで、約130名の方にご来校いただきありがとうございました。特に中学生およびその保護者の方には約100名と大勢ご来校いただき、集中した授業風景・校内の様子などから清陵の校風を少しでも感じていただけたようです。来校者の皆さまから寄せられたご意見を参考に更に参観しやすい雰囲気を作りたいと考えています。第2回目の授業公開を10月15日(土)に予定しておりますので、ぜひご来校ください。

## 新スーパーサイエンスハイスクール(SSH)がスタートしました

平成17年度からの新SSHは指定期間の延長(3年→5年)・国際化や高大連携を重視  
 全国で22校が新SSH校に指定されました  
 信州大学・諏訪東京理科大学・セイコーエプソン(株)と直接あるいは間接的に協定を結び連携



SSH協定書調印式

### 4月5月

月/日	SSH実施記録
4/ 1	文科省より、「新スーパーサイエンスハイスクール」として指定される
5/13	諏訪東京理科大学とSSH協定書の調印
5/27	信州大学とのSSH協定書の調印

### 2年生から新たなSSH課程

1年	2年	3年
共通	一般理系	
	SSH課程	
	文系	

## 大学や企業等と連携 「講座」「研究室訪問」等の実施

信州大学、諏訪東京理科大学及びセイコーエプソン株式会社の協力を頂き、研究者や技術者による先端分野に関する講座や大学・研究所に出かけて実験実習する「サイエンスプログラム」および大学の研究室等の活動に一定期間参加し研究の現場を体験する「研究室訪問」を実施する。

また、「海外研修」の実施に向け、国内外の大学企業と連携を検討し、細部にわたる事前調査から現地での様々な観測や大学・研究所の見学等、幅広く体験し研究者とも交流できるように、今年度は実施内容についてさらに検討を深めていく。

## 「清陵サイエンスフォーラム21」の開催

全校生徒、学年、希望者等を対象に最先端の研究者、技術者等を招き、環境・医療等、自然科学のさまざまなテーマについて、講演会やシンポジウム等を実施し、地域にも発信する。

## 教育課程の開発

2・3年生SSH課程の学校設定科目「スーパーサイエンス」では課題探究・科学英語入門・科学セミナー等を実施する。

## 指導方法等の開発

大学・企業等との連携にも配慮しカリキュラム開発を推進する。

### SSHスケジュール 7・8月

日	区分	学年	対象講座	内 容	講 師 (敬称略)	
7/3	課題探究発表会	3	S (SSH3課程)	2年次から科目「スーパーサイエンス」において取組んできた課題探究のまとめを発表する。8グループ		
7/15	運営指導委員会	第1回運営委員会 (これまでの事業報告、今後の研究計画、3年SSH3課程「課題探究発表会」参観、等)				
7/29	講座	2	S (SSH2課程)	化学 分析技術体験 (事前講義)	セイコーエプソン分析リサーチセンター課長 小松忠一	
7/30 7/31	サイエンスプログラム	1,2	理科系クラブ	自然誌科学館、研究成果発表		
8/1 8/2	サイエンスプログラム	2	S (SSH2課程)	化学 分析技術体験	セイコーエプソン分析リサーチセンター課長 小松忠一 他5名	
8/3 8/4	サイエンスプログラム	2	S (SSH2課程)	生物 遺伝子操作体験実習講座	信州大学ヒト環境科学研究支援センター生命科学分野遺伝子実験部門 林田信明 (助教授)、田口吾朗 (助手)、TA3名	
8/8 8/9 8/10	SSH生徒研究発表会 (文部科学省主催)	3	S (SSH3課程) より3名	○SSH指定校の代表が各校1テーマについて研究発表。 本校はポスターセッションに参加。発表、表彰式、各校の生徒が交流する。		



本年度卒業生から、随想を寄せてもらいました。

## 充実した3年間

上山 雄太

横浜国立大学工学部



私は清陵に入学したとき、「自分のやりたいことを思いっきりやろう!」と心に決めました。私がやりたかったことは、ソフトテニスと学生会や清陵祭の運営に積極的に携わることです。

しかし、やりたいことだけをやって済むほど、世の中も高校生活も甘くありません。勉強です。部活で、日が暮れるまでボールを打ち続け、くたくたに疲れて家に帰ると、このまま眠りにつきたいという衝動にかられました。正直この衝動に勝てない日もりましたが、多くの日はこの衝動を抑え、英語と古典の予習は欠かしませんでした。さらに、テスト一週間前の部活の休みを大切に、平均以上を目ざして頑張りました。

3年生になる頃、私は立候補して清陵祭実行委員になりました。清陵祭が迫るにつれ、忙しさは日に日に増し、疲れもたまっていきました。しかし、もう受験生でしたので、弱音も吐けず、授業の予習・復習だけはやっていました。

私は清陵で過ごした3年間、本当に楽しく、また、多くの有意義な経験をしました。仲間との協力や信頼する大切さ、皆で一つのものを創り上げる喜び、自分の頑張りを認められる嬉しさの実感、多様な考えを持つ多くの人との出会い等々。私はこれらにより、人として大きく成長できました。

この充実した三年間がまた、私の受験勉強を支えてくれたのだと思っています。勉強とその他との両立は、口で言うほど簡単ではありませんが、得られるものは想像以上に大きいものです。清陵での三年間は、私にとってかけがえのない、未来への躍進力です。

## 応援しています

樋口 祥平

自治医科大学医学部



私が清陵生だった頃は、部活が楽しくて、練習にのめり込む毎日を送っていました。部活を頑張ると、どうしても疲れてしまい、十分な勉強時間が確保できないこともありました。ただそんなときでも、限られた時間でしたが、集中しての勉強は続けていたつもりです。

部活を引退してよいよ受験勉強の時期になると、私は心を入れ替えました。自分の知らなかったことを全部新たにノートに書き写して、わからないことはしつこいくらいに先生に質問しに行きました。受験勉強で大切なことは、変なプライドは捨てて、わからないことはわからないで、どんどん先生に質問することです。自分の弱い所を自覚して、基礎から徹底的にやることも大事です。

部活を続けてきたものにとって、最後にもの言うのは、部活や学生会などで培った体力・気力・集中力を、どれだけ勉強にそそぎ込めるかだと思います。私自身、電車の中や風呂の中でも勉強して、24時間から睡眠時間と食事の時間を引いた分が勉強時間になるくらい努力しました。すると不思議なもので、勉強がまるで部活をやっているみたいに夢中になってできるようになりました。

勉強というものは、本当は楽しいものなんだと思います。高校3年生というのは、ひょっとしたら一生のうちで一番勉強できる時なのかもしれません。自分は今その恵まれた時期にあるんだ、くらいに考え方を切り替えて自分の夢に向かって精一杯頑張ったいと思います。応援しています。

## 文学と受験勉強



「絢爛たる王朝の大口マン」「宮廷で繰り広げられる華やかな恋愛絵巻」「愛と罪と運命の物語」源氏物語を紹介するうたい文句である。これらの言葉に期待感で胸を膨らませて源氏物語の学習に入る。その冒頭「いずれの御時（おほんとき）にか、女御更衣あまたさぶらひたまひける中に、いとやむごとなき際にはあらぬが、すぐれて時めきたまふありけり。」女御更衣？あまた？さぶらひたまひける？やむごとなき際？…よくわからない。「さぶらひ」は謙譲語で「伺候する」という意味。「たまひ」は尊敬の補助動詞だと説明される。それに追い打ちを掛けるように、訳を読むと「どの帝の御代であったか、女御更衣（いずれも天皇の後妃、女官の位の一つ）が大勢伺候していました帝の後宮に、たいして重んじられる身分の家柄ではないが抜きん出た寵を得て輝く女があった。」などと訳してある参考書もある。書き出しの2行を理解するのもなかなか苦労する。「王朝口マン」は遠ざかっていく。普通ならここで投げ出してしまうところだが、大学受験に必要なと言われると、そういうわけにもいかない。必死の思いで意味を理解しようとする。そこが受験勉強の良いところ。必要に迫られて読むうちになんとなく理解できるようになり、面白くなっていく。源氏物語の「王朝口マン」も感じられるようになる。知らず知らずのうちに、愛というものについて考え、人生いかに生きべきかを学ぶ。受験勉強はただ受験のためにあるのではなく、よりよい人生の糧となるのである。

(国語科)

## 「1学年便り」

今年の1年生は男子133名(昨年158名)・女子110名(昨年88名)で、ほぼ1対1であり例年並みの男女比になっています。(昨年は特別男子が多かった。)前期選抜が導入されて2年目で、枠が24名に拡大されました。

生徒達は中学3年間を新課程で学習してきたので、中学卒業までに身につけてきている内容が以前より少なく、これからの高校での学習が心配だと言われています。そこで今年は入学直後に一日特別時間割を組み、高校の英数国はどういうふうに勉強していけばよいかオリエンテーションを行いました。また、月に一週間程度の生活実態調査をこまめ毎月(3回)行い、学習へ取り組む態勢の確立を図ってきています。

生徒達は、中学時代とは大きく異なり自由なムードが溢れ、かつ先生の手をあまり借りずにどんどん学生会活動を進めている上級生のように、驚きと戸惑いを感じながらも徐々に清陵高校に馴染んできているように思われます。

これからの学年行事として次のようなものがあります。7月16日(土)に総合学習の一環として同窓会長の林尚孝氏(茨城大学名誉教授)から話をさせていただきます。また、10月8日(土)にはSSH事業の一環として一学年単独のサイエンスフォーラムがあり慶応大学理工学部教授小池康博氏に講演をさせていただきます。

# 学友会 コーナー

## 春のクラスマッチの結果

4月25日にクラスマッチが行われました。全ての競技が白熱し、どのクラスも一丸となり、クラスの団結力がさらに高まったのではないのでしょうか。今後は、9月に端艇大会、10月には秋のクラスマッチも予定されているので、春のクラスマッチよりさらに白熱した試合が展開されるといいと思います。

〔男子バスケット〕	1位 職員	2位 3-3	3位 2-4
〔男子サッカー〕	1位 3-4	2位 3-7	3位 2-3
〔女子バレー〕	1位 2-3	2位 3-4	3位 3-7
〔女子バドミントン〕	1位 3-6	2位 職員	3位 2-7
〔混成卓球〕	1位 3-4	2位 1-1	3位 1-5
《総合》	1位 3-4	2位 職員	3位 2-3



## クラブ紹介-9 ~女子バスケットボール部~

女バスいつも汗まみれです。でも無駄に汗流してるわけじゃありません。濃いんです。いろいろ。バスケットも人間も!! 人間もバスケットも含めて全部、本当にいい部活です。3年は引退したけど、1・2年生、これからもっと女バスアピールしちゃって!! ファイト!!!  
(3-1 小池沙香)



女子バスケットボール部は、先輩・後輩の枠を越えて、仲良く楽しくそしてけじめをつけて毎日の練習に励んでいます。6月の県大会をもって3年生の先輩たちは引退してしまいましたが、個性豊かな先輩たちのキャラクターを引き継いで頑張りたいと思います。  
(2-7 上山千佳)

## 高校総体の結果

### 野球

《南信》準決勝：清陵6-2 飯田風越 決勝：清陵11-2 上伊那農業

《県》準決勝：清陵13-5 武蔵工大二(8回コールド)

決勝：清陵5-1 3 佐久長聖

《北信越》①清陵10-0 新潟県央工業(6回コールド) ②清陵2-6 星稜

### 男子バスケット

《南信》準決勝：清陵83-74 岡工 決勝：清陵55-117 東海第三

《県》清陵66-86 長野

### 女子バスケット

《南信》①清陵71-46 飯田女子 ②清陵46-83 長姫

《県》清陵50-74 小諸

### 男子バレー

《南信》①清陵2-0 駒ヶ根工業 ②清陵0-2 東海第三

### 女子バレー

《南信》①清陵2-0 二葉 ②清陵0-2 下諏訪向陽

### バドミントン

《南信》男子団体：6位 女子団体：3位(県進出)

### サッカー

《南信》3位

《県》①清陵1-0 長野吉田 ②清陵0-4 松本県ヶ丘

### 卓球

《南信》個人：柳澤(5回戦進出) 有賀(5回戦進出)

団体：①清陵3-1 長姫 ②清陵0-3 風越

### 陸上

《南信》男子：100m 両角俊亮3位 200m 両角俊亮2位

400m 伊藤森太郎2位 八種競技 真嶋純1位

砲丸投 菊地隆司3位

4×100m R 白尾、田中、立石、両角3位

4×400m R 田中、両角、伊藤、立石2位

女子：100m H 武井芽香2位 800m 小口七海3位

七種競技 古松奈々子1位(清陵新・大会新)

4×400m R 関、池田、武井、小口2位

《県》男子：八種競技 真嶋純6位

4×400m R 田中、両角、兼山、伊藤3位(北信越進出)

女子：800m 小口七海5位(北信越進出)

七種競技 古松奈々子1位(北信越進出)

### 女子軟式テニス

《南信》シングルス：③高橋0-6 新井(伊那北)

③伊藤2-6 佐々木(伊那北)

ダブルス：③菊地・小池6-2 黒河内・近藤(弥生)

④菊地・小池1-6 下井・佐々木(伊那北)

団体：①清陵2-1 岡谷東 ②清陵0-2 二葉

### 剣道

《南信》個人：②岩波0-2 鎌倉(飯田) ②竹田0-1(延)熊谷(飯田)

②有賀0-2 熊谷(飯田) ②武川0-2 本島(下伊那農業)

団体：6位(県進出)

《県》団体：予選リーグ②清陵×-〇松商 ③清陵×-〇長野

### 柔道

《南信》個人：尾沼×-〇山田(岡工) 佐久×-〇田中(東海)

伊東×-〇遠山(阿智)

団体：①清陵0-5 辰野 ②清陵1-4 阿智

### 硬式テニス

団体 ②清陵0-3(風越)

シングルス ④小池0-3 森上(風越)

ダブルス ②牛山・飯山2-6 和田・藤本(風越)

②田原・伊藤1-6 長尾・木下(赤穂)

### ご意見ご感想をお寄せ下さい

長野県諏訪清陵高等学校 〒392-8548 長野県諏訪市清水1-10-1 tel.0266-52-0201 fax.0266-57-2426

H.P. <http://www.nagano-c.ed.jp/seiryohs> e-mail [seiryohs@nagano-c.ed.jp](mailto:seiryohs@nagano-c.ed.jp)

●本誌は、県教育委員会数学指導課の17年度創意ある学校経営支援事業により作成しています。本年度は4回発行します。